

あなたと議会の懸け橋

No. 130

2015

4.25

千代田

議会だより



平成27年3月定例会



左のQRコードを読み込むと、
議会ホームページが開きます。



表紙の説明は8ページをご覧ください。

P. 2 平成27年度 予算を可決

P.11 一般質問 そこが聞きたい

P.14 委員会のうごき

平成27年第1回定例会が、3月4日から12日までの9日間の会期で開かれ、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算や、平成27年度一般会計及び特別会計予算など議案31件、同意1件が上程され、慎重なる審議の結果、すべて原案どおり可決・同意されました。また、初日には2名の議員が一般質問に立ち、町の考え方について質問しました。

平成27年
3月定例会

3/4 ▶ 3/12



④ 農業振興対策
ほじょう 圃場の大区画化への取組み



⑤ 施設改修等事業
老朽化したトイレの改修工事



⑤ 施設改修等事業
利用者の安全・安心を図る

予算編成 主な事業決まる

④ 農業振興対策

小規模農村整備事業

1,413万円

舞木地内で狭い圃場から広い圃場となるよう、畦畔を取り除く大区画化がモデル事業として進められる。

新 農地中間管理事業

192万円

農地の有効活用や経営の効率化を進めるため、認定農業者等の担い手が農地を借り受け、規模拡大や農地の集約など農地利用の最適化を図るとともに、耕作放棄地の解消も期待される。

⑤ 施設改修等事業

新 東小施設改修工事

6,258万円

老朽化したトイレの改修工事等を実施し、学校教育の環境改善が図られる。

新 社会体育施設改修工事

3,369万円

町民体育館において、漏水のため使用できなかった1階の男女トイレが改修されるとともに、屋根の補強工事と防火区画の改修工事等が実施され、利用者の安全・安心が図られる。

一般会計予算の概要

持続可能な予算の編成

歳入では、町税が前年度比0.7%増の21億6,847万円を見込み、地方交付税や国庫支出金及び地方譲与税など各種交付金は、実績を踏まえ最大限の金額が計上されました。

歳出では、町の将来像である「人と自然がふれあう 元気で豊かなまち ちよだ」の実現に向け、財源を効率的かつ効果的に配分し、将来にわたり持続可能な予算編成となり、総額では前年度比4.6%減の44億5,600万円が計上されました。



平成27年度 一般会計予算

44億5,600万円



① 安全・安心の確保
増設される防犯カメラ



③ 都市基盤の整備
道路改良工事が行なわれる福島地内の町道



② 子育て・教育環境の充実
英語教育の充実を図る

平成27年度

① 安全・安心の確保

拡 防犯カメラ設置工事
300万円

昨年度に引き続き、公共施設に防犯カメラを設置し、安全・安心の確保を図る。今年度の設置場所は、町庁舎に4台。

新 防災行政無線デジタル化工事
2,882万円

災害の発生が予測される場合、情報伝達が的確にできるように、老朽化した防災行政無線をデジタル化しており、本年度で更新が終了する。

② 子育て・教育環境の充実

拡 英語指導助手業務委託事業
1,113万円

英語指導助手を増員し3名として、小学校及び中学校に配置することにより、英語指導の充実が図られる。

新 西保育園増築工事設計委託料
432万円

保育サービスの充実を図るため、西保育園の0歳児保育室等の平成28年度増築に向けて、工事設計委託が行われる。

③ 都市基盤の整備

道路新設改良・維持補修事業
2,652万円

福島地内の町道約120mの道路改良工事及び下森地内の町道の側溝改修工事約120mが予定されている。

都市計画道路整備事業
9,203万円

国庫補助金の減額等により事業に遅れが生じていることから、現事業認可の延伸手続きを行い、赤岩・新福寺線の早期完了に向け用地買収及び物件補償が継続して実施される。

新 新規事業 **拡** 拡大事業

一般会計予算 主な質疑

問 計上された議会費について執行部の考え方は。

答 議会関係ですが、前年度から2.4%減の8,614万9,000円としました。特に議会広報発行事業では、前年度から57%減の177万2,000円の計上でした。議会研修視察事業では、議会全体あるいは常任委員会その他の研修について、議会全員協議会や議会改革推進特別委員会等において、研修の手法等を議論されて予算要求していると思いますが、議会の意向を尊重して計上しました。

問 議会から提出された予算には、行政視察等での問題の抽出と課題は明確に示されていたか。

答 研修視察事業は、議会全員協議会あるいは、議会改革推進特別委員会等で十分協議されて、そ

の結果、問題等を示していただければと考えます。

問 視察先の先進地は明確になっていたか。

答 研修視察では、先進地の場所、テーマが最も重要です。議会全体で協議することが一番と考えます。研修の方法・計画・具体的な目的を十分ご協議をされて、目的地を選定していただければと考えます。

問 平成26年度の予防接種事業について、補正予算で800万円近く減額をしたが、平成27年度に前年度より増額した理由は。

答 平成26年度の途中から水疱瘡・高齢者の肺炎球菌が定期接種となり、平成26年9月に補正の追加を行いました。水疱瘡等については過去の実績がないもので、対象者を

約7割程度見込んでいましたが、実際に接種された方は少数でした。また、その他の接種も少数のものがあり、そのため平成26年度は大きく減額をしました。平成27年度の予防接種事業は、年度の途中で制度等変更になる場合があり判断が難しい面もありますので、昨年と同様に計上しました。

問 苦情の出ている太陽光発電施設があると聞くが町の考えは。

答 当該施設は、電気事業法等に基づき現段階における正当な手続きにより設置されている施設です。町の権限を越えたものについては、関係機関等に対応をお願いしたいと考えます。

問 舞木地区の農地で区画を拡大した、試験的な整備を行うと聞くが、今後の方向性は。

答 国の農業施策では現在効率化を図るため、中核的農家を中心とした集約化を進めていると考えています。町でもこの施策に取り組んでいき、今回畦畔撤去を考えています。今後農家の意向を伺い、よい方法を見つけていきたいと考えています。

問 公共下水道整備の今後について問う。

答 現在の認可区域を平成28年度末までに変更し、追加する役場周辺の市街化区域の21ha分を概ね10年をめどに終了し、それ以降は維持補修をしたいと考えています。市街化調整区域については、合併浄化槽を推進していきます。

問 高齢者の福祉で、今後自立支援センター等について町の考えは。

答 直近では1日平均13人の利用者がいます。本年1月の延べ人数は250人が通っています。今後は利用者の増加も考え

られますので、有効活用等について検討していきます。

問 大泉町が保育料金を安くするのではないかと聞くことから、広域入所児童保育についての、財政負担に関する説明があったが、その後については。

答 町の保育所は年齢等で差はありますが、町内・広域入所に関係なく保護者の負担金は同額です。また、子ども子育て支援法に基づき、幼稚園の負担についても住所地の保護者は同じ額になるということで説明しました。町立幼稚園は現在の額を基本に、町外の私立幼稚園は、その自治体の利用者負担額を基準に考えていくことで進めています。また、他の自治体でも金額は決定していませんので、状況を見て進めていきます。



今後役割が増す自立支援サービスセンター

問 奨学金の貸付け予定者の見込みと、過去の返済状況は。

答 新規10人の見込みで、現在8人認定しています。今後2名の追加募集をする予定です。返済は、概ね計画的に返済されています。

問 英語指導助手（ALIT）が1名増員となるが配置状況は。

答 小中学校に各1名を基本に考えていますが、各校の状況に応じて具体的に対応方法を考えます。小学校は1年生からALITに接していて、幼稚園でも遊びから英語教育を取り入れています。幼稚園・保育園でも今後は、ALITに触れる機会を考えていきたいと思えます。



保健センターに設置されている拠点回収ボックス

問 ごみ減量化について町民への啓発や新たな取り組みを行っているのか。また、本町でのごみ排出量の推移について。

答 小型家電・古布・プラスチック等の拠点回収を実施し、町民の協力をいただきながら経費をかせずに取り組んでいます。ごみの量は、若干増加の傾向です。減量化への啓発等に力を入れ、分別収集などで町民の協力をいただき今後も減量化に努めていきます。

問 太田市では指定のごみ袋を使用している。1市3町で新たなごみ処理施設を建設するが、本町でも指定のごみ袋を使用していくことになるのか。

答 新規施設は平成33年の稼働を目指しています。まだごみ袋の指定について、決定等はしていません。

問 第3子以降保育料免除事業費補助金について、どの程度の人数を考えているか。

答 県の1/2補助事業で、20名程度と考えています。

問 都市計画道路整備事業の完了に必要な残りの費用は、どの程度か。

答 現在、用地買収・物件補償は当初の見込みよりも金額が低く実施できていることから、当初見込んでいた金額よりも低くなるかもしれません。しかし、工事等行っていないものもありますので、具体的な金額はわかりませんが、事業費をできるだけ抑えていきたいと思えます。

問 本町におけるスポーツ選手の育成費用について問う。

答 育成費用としては、スポーツ少年団育成補助金を6団体に出しています。また体育協会補助金の中に17団体への補助金が含まれています。スポーツ振興事業で様々なスポーツ大会の予算を計上し、各種スポーツ大会教室等開いています。



世界を舞台に戦うスポーツ選手

問 本町はレスリングが盛んで、県や全国また世界で戦う選手も出ているが、今後スポーツを前面に押し出し、町を元気づける施策はあるのか。

答 町としてスポーツクラブを運営していくのは難しいですが、スポーツ選手の派遣に関し、助成を行っています。県大会・全国大会・世界選手権等へ行く際に、派遣費として助成を行っています。今後町として何ができるか検討していきたいと思えます。

徹底

討論

討論とは…

議案に対して議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員を自己の意見に賛同させることを目的とする発言です。

平成27年度一般会計予算

反対

坂部敏夫 議員

議会費以外については問題ないが、議会費には大きな問題があると考えます。視察目的との関連性を積極的に議会が示すことのできない視察は、正当性を欠くものであると考えます。平成26年度の行政視察には旅行実績が多々あった。根拠の乏しい議会費、視察研修費を当初予算化することに反対します。

襟川仁志 議員

我々議員全員で作り上げた議会の最高規範である千代田町議会基本条例の13条に「議員自らが自己研鑽に努めるとともに、専門知識の習得や先進事例の調査研究など幅広い研修機会を設けます」とあります。町長提案の議案に対し、質問だけでなく対案を持って提言していくことが必要であり、そのためには、積極的に研修をして勉強していくことが我々の与えられた職責だと考えます。当初予算の研修視察費は必要最低限の費用であり、適切であると考えます。

細田芳雄 議員

旅行との発言がありました。他の議員はそういった発言はしていません。本町の福祉の向上を図るため、より良い町にするために、皆の意見の一致をもって研修をおこなっています。

賛成

賛成多数により 可決

富岡芳男 議員

議会研修については旅行ではありません。視察研修を行い、課題に取り組んでいます。決して旅行ではありません。

金子孝之 議員

少子高齢化や安全安心の町づくりなど、喫緊の課題を踏まえ本予算は、教育・環境・保健衛生・都市基盤・産業振興への取り組みなど、バランスのとれた予算配分となっています。本予算により、町のさらなる発展と住民福祉の向上が図られることを期待します。

柿沼英己 議員

研修というのは投資であり、そうして実もなり還元していくことです。研修は重要であり、これを放棄することは地域間競争に敗れ千代田町の発展はないと考えます。これらをやめたら地域作りはできないのではないかと考えます。千代田町議会基本条例にも研修は大切だとわられています。これから議員各位が改めて認識していただければと考えます。

特別会計予算 主な質疑

国民健康保険特別会計

問 予算計上における被保険者数は。

答 一般被保険者3,500人、退職被保険者300人で計算しています。

問 療養費増加の原因及び今後の被保険者数について問う。

答 高度医療が増加し、悪化の前に早期発見ができるため、ひどい状態にならなくて済むという意味では、今後健康寿命が延びれば、療養費が減ってくるかと予測できます。現在は、早期に医者にかかる・高度医療を受けるといった要因により、療養費が増加していると考えます。当面は医療費がかかると思うが、早期発見事業等推し進め、療養費が少なくなるようにしていきたいです。

問 町として国保の安定した運営について、長期的な考え方は。

答 病気の早期発見、病気になるらない体になっていただくための施策等、様々な事業を各課と連携し、町全体で取り組んでいきたいと考えます。

問 ジェネリック医薬品の推進について、医療機関との連携は。

答 ジェネリック医薬品促進パンフレットを作る予定で、医療機関にも協力いただき、推進していきたいと考えています。

介護保険特別会計

問 介護保険料が改定され、収入が増加すると見込まれるが、一般会計から繰入れ等どういった運営をしていくのか。

答 一般会計から法定外の繰入れができないものですので、いただく保険料でまかなっていきまます。健康で介護にならないように予防事業に力を入れ努力していきます。



平成 27 年度 特別会計予算

※万円未満四捨五入

会計名	予算額	対前年増減額	備考
国民健康保険	16億1,658万円	1億2,740万円	特定健診の受診率向上に向けた取り組みを強化し、年々増加する事業費の抑制に向けて対応していきます。
後期高齢者医療	1億0,380万円	57万円	後期高齢者医療制度の周知を図り、現役世代と高齢者世代とで共に支え合い、心身の特性や生活実態等を踏まえた十分な医療をいつでも受けられるよう、制度の安定化に努めます。
介護保険	9億7,011万円	114万円	保険給付費の財源である、保険料の改定を予定した予算となりました。高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活が送れるよう、地域で支える「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。
下水道事業	2億6,858万円	△1,182万円	昨年度に引続き赤岩2区地内でサービス管の整備を進め、供用開始区域の拡大を予定しています。また、舞木16区地内の未整備地区の整備も図ります。
水道事業	収益的収入	2億8,206万円	老朽石綿管の布設替え（群馬東部水道広域化に伴う国庫補助金を活用した事業）や、配水管布設工事を予定します。
	収益的支出	2億7,829万円	
	資本的収入	980万円	資本的支出に対して不足する収入額は、当年度分消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金で補填するものです。
	資本的支出	1億1,891万円	

その他の議案

主な質疑

千代田町土砂等による埋立て等の規制に関する条例の制定

土砂等による埋め立て等の適正化を図り、生活環境の保全と災害の発生を防止するために、制定されました。

問 業者等への監視・指導方法は。

答 条例により帳簿の備え付け、事業途中での報告等を義務付けています。あわせて町側の検査、事情聴取も義務付けられています。

問 町に無断で、土砂等による埋立て等を行なった時の発見方法は。

答 日頃より職員が町内の状況をよく注視し、地域の区長や農業委員等から情報を取得します。ま

た、環境ハトール等でも監視等を行なっています。

一般会計補正予算
(第5号)

既定の歳入歳出予算の総額から6,463万4,000円減額し、総額50億8,128万5,000円となりました。

歳入では、町税及び国庫補助金である「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「地域住民生活等緊急支援助交付金」に係る事業費が追加されました。歳出では、全般的に人件費や一般経費及び工事費等が精査され、不用額が減額されました。

また、総務費・農林水産業費・土木費における8件の事業が、年度内の完了を見込めないことから、繰越明許となりました。

問 地方創生先行型交付金活用事業の地方版総合戦略策定事業の具体的な説明を。

答 町が元気になる方策、町のためになる総合戦略を町独自に計画し実行するものです。平成27年度中に、職員だけでなく多様な方々の意見を聞きながら町としての総合的な戦略を作り上げていきます。

問 計画策定業務委託料について、具体的な業者は。

答 総合戦略策定に当たり数値的な部分など細かな内容を計画し、その後に検証等も行うものですので、専門のコンサルタントに業務を委託するものです。予算決定後に業者を選んでいきたいと考えます。



保育士の確保が急がれる保育園

表紙の説明



3月11日、西保育園・西幼稚園合同で、じゃがいもの種植えをしました。笑顔いっぱい、楽しく過ごしました。

人事

教育委員会委員の同意

欠員となっていた教育委員会委員の任命について、同意を求める議案が提出され、同意しました。

荻原 五郎氏

(千代田町大字舞木 新任)

平成 26 年度 一般会計・特別会計補正予算

項 目	補 正 額	補 正 後 予 算
一般会計（第 5 号）	△ 6,463 万 4,000 円	50 億 8,128 万 5,000 円
国民健康保険特別会計（第 3 号）	△ 3,821 万 4,000 円	15 億 1,251 万 9,000 円
後期高齢者医療保険特別会計（第 2 号）	△ 388 万 2,000 円	9,984 万 8,000 円
介護保険特別会計（第 3 号）	△ 3,400 万 9,000 円	9 億 5,625 万 1,000 円
下水道事業特別会計（第 3 号）	△ 666 万 4,000 円	2 億 8,484 万 0,000 円

問 コンサルタントが作成したものは、認められないと聞くが、具体的な総合戦略の策定委員の人は誰か。

答 コンサルタントには基本的な部分、最低限計画に乗せなければならぬものをアドバイスしてもらい、そのうえで町独自の計画を出して作り上げていくものです。議員や区長や経済界・学校関係・福祉関係など多様な方の意見を伺った上で、町独自の戦略を立てていきます。

問 東西保育園の保育料の減額補正の原因及び園児の保育料は。

答 前年を踏襲し予算繰りをしており、予想とずれが生じた場合には、減額等を行います。また、所得階層等により保育料が決まりま

問 保育料が減った原因は人数が減ったと考

どの程度の減少があったか、またその理由は。

答 予算は最大限の人数で見込みましたが、今回は減りました。原因としては0歳児が少し減ってきていると思います。ふれあいタウンちよだができた頃のお子さんの年齢が上がって、3・4・5歳

児が増えてきている傾向にあると思います。

問 保育園管理運営費のパート職員賃金の減額について、職員の人数が集まらないということだが、今後の見通しは。

答 厳しい状況の中、保育士の方々の努力により運営を行なっています。新年度は、ほぼ問題なく運営できる体制となっています。今後も保育士確保に努めます。

問 農林水産業費の被災農業者向け経営体育成支援事業補助金について、大雪被害を受け経営を断

念じた件数は。
答 町における農業施設の被害の総額を見込んだ形で、予算の要求を行いました。該当しないものも含まれていますが、再建が難しいということで断念された方は3件です。

全国町村議会議長会 自治功労者表彰 受賞

この度、全国町村議会議長会より4名の議員が、議會議員として多年にわたり地域の振興発展に寄与された功績が認められ、自治功労者表彰を受けられました。



(写真左から)
黒澤兵司議員・細田芳雄議員・富岡芳男議員・柿沼英己議員

審議議案と議員の賛否（第1回定例会）

議案名	議員名											議決結果 (賛成:反対)	
	野村智一	高橋祐二	坂部敏夫	襟川仁志	金子孝之	小林正明	柿沼英己	富岡芳男	細田芳雄	黒澤兵司	青木國生		福田正司
第1回定例会													
議案1号	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案2号	千代田町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案3号	千代田町土砂等による埋立て等の規制に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案4号	千代田町教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案5号	千代田町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案6号	千代田町保育の実施に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案7号	千代田町議会委員会条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案8号	千代田町行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案9号	千代田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案10号	千代田町手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案11号	千代田町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案12号	千代田町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案13号	千代田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案14号	千代田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案15号	千代田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案16号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案17号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案18号	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案19号	平成26年度千代田町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案20号	平成26年度千代田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案21号	平成26年度千代田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案22号	平成26年度千代田町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	可決(10:1)
議案23号	平成26年度千代田町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案24号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案25号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案26号	平成27年度千代田町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(10:1)
議案27号	平成27年度千代田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案28号	平成27年度千代田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案29号	平成27年度千代田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案30号	平成27年度千代田町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
議案31号	平成27年度千代田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(11:0)
同意1号	千代田町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意(11:0)

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します（○は賛成、×は反対、欠は欠席）

一般質問

2 議員が登壇

そこが聞きたい

町民の皆様を代表して、2名の議員が、一般質問を行いました。

黒澤 兵司 議員

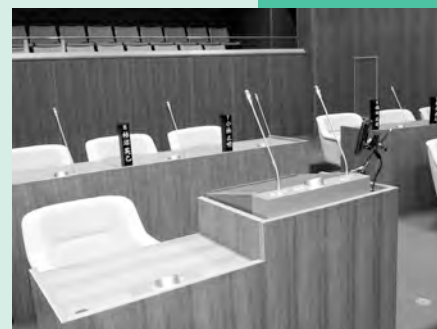
12 ページ

1. 舞木土地区画整理事業について
2. 都市計画道路事業（赤岩新福寺線）について
3. ふれあいタウンちよだ事業について
4. 新規工業団地計画について
5. 地方創生法と千代田町総合計画への効果について
6. 空家対策特別措置法について

小林 正明 議員

13 ページ

1. 地方創生の推進について
2. 健康推進と高齢者支援について





黒澤 兵司議員

舞木土地区画整理事業について

町長「事業終結に向け、取り組みます」

黒澤 舞木土地区画整理事業について。

町長 組合への無利子貸付金は、平成22年3月に土地区画整理事業に要する資金として、3億7,200万円を国と町が1/2ずつの貸付を行いました。償還計画は、平成24年度から26年度末の3年間の予定でしたが、26年度末で2億6,100万円の償還予定となり、差引き1億1,100万円が未償還となる予定です。

黒澤 未償還金について、貸付責任者としての責任を伺う。

町長 議会の議決を経て貸付しました

が、貸付責任は貸付者である町長の責任となりま

思います。事業終結に向け、議会の理解と協力をお願いいたします。

ふれあいタウンちよだ事業

黒澤 ふれあいタウンちよだ事業の分譲状況は。

町長 平成27年2月末現在で総区画数307区画中156区画の分譲が進んでいます。うち西邑楽土地開発公社分は、66区画中39区画の分譲となっています。

黒澤 分譲区画完売に向けた促進策を

町長 商業店舗誘致による集積を進め、購買意欲を高められるように取組んでいきます。住宅メーカー等への営業及び各種制度を活用し、県企業局と一丸となって平成30年度を完売目標として取り組んでいきます。



販売が進むふれあいタウンちよだ

地方創生法と町総合計画への効果

黒澤 地方創生法と千代田町総合計画への効果について伺う。

町長 地域住民生活等緊急支援の交付金活用策として、2つの計画をしてい

①地域消費喚起生活支援型として、町商工会と連携したプレミアム付き商品券事業
②地方創生先行型として交付金事業を活用した、地方版総合戦略の策定事業・少子化対策事業・観光定住促進対策事業の3事業
一方、町の総合計画は従来から推進している子育て支援事業や観光振興定住促進事業などは、新たな視点からの事業展開を進めていけば、国からの交付金を活用して効果を出すことは、可能であると考えます。

①地域消費喚起生活支援型として、町商工会と連携したプレミアム付き商品券事業
②地方創生先行型として交付金事業を活用した、地方



小林 正明議員

人口減少の克服策は

町長「プロジェクトチームを設置し、取り組みます」

小林 人口減少の克服策は。

町長 人口減少問題の対応は、「出生率を上げる・他の地域からの転入者を増やす・町からの転出者を減らす」この3つの方法に限られます。

本町は、人口減少の対処として、舞木の土地区画整理事業と、東部地区のふれあいタウン住宅団地の事業を推進し、人口増加に努力してきました。27年度には、人口減少問題に係るプロジェクトチームを設置し取り組みたいと考えています。

小林 若い世代の支援策や具体的な戦略と取組みは。

町長 結婚前の若い世代には、異性と出会う場を提供するため、教育委員会においてヤングセミナー事業を実施し生涯のパートナーに出会えるよう、事業推進を図っていきます。

また、子育て支援では、保育園において第三子以降の保育料無料化を検討し、幼稚園では26年度より多子世帯の支援として、年少児3歳から小学校3年生までの第二子は授業料半額、第三子は授業料免除となる幼稚園奨励費事業を実施しています。

ます。今後とも子育て支援に全力で取り組んでいきます。

健康促進と高齢者支援について

小林 健康診断受診率の向上策は。

町長 環境保健課所管での検診では、

30歳～39歳までの基本検診受診率は10%、がん検診受診率は、胃がん18%、肺がん53%、子宮頸がん34%、乳がん37%、大腸がん34%、前立腺がん41%という状況です。また住民福祉課所管の後期高齢者健診の受診率は32%、40歳～74歳までの

国保特定健診の受診率は50%です。集団検診では、会場が大変混雑するため、誘導員を増やし、総合受付を設置して問診票の事前チェックをし、円滑に受診できるように努めています。

小林 ひとり暮らしの高齢者福祉事業について。

町長 緊急通報装置の貸出し事業・救

ひとり暮らしの高齢者福祉事業について。

緊急通報装置の貸出し事業・救

急医療情報キット配布事業・火災警報器設置事業のほか、社会福祉協議会に委託する友愛訪問事業・給食サービス事業があります。このほか介護

保険では、生活指導員派遣事業を行なっていますが、今後もひとり暮らし高齢者事業に、なお一層力を入れていきます。



高齢者が楽しみにしている給食サービス事業

総務文教常任委員会

◎襟川仁志 ○野村智一 黒澤兵司 細田芳雄 柿沼英己 ◎委員長 ○副委員長

町からの報告事項

●主な所管事務について

総務課… 5月に行う邑楽郡物産展・観光用町PRポスターについて
信号機役場案内表示板設置について
国土地理院による町の面積の変更について

財務課… 個人住民税の特別徴収の一斉指定の推進について
平成26年度の町税の収納状況について
法令外負担金について

主な協議事項

- 平成27年度予算について
- 閉会中の継続調査について

主な質疑

問 下水道が整備されていない市街化区域の認可区域外の合併浄化槽設置は補助の対象にならないのか。

答 基本的に市街化区域は下水道を整備する予定です。合併浄化槽にしてしまうと、つなぎ込みの協力が難しいので補助金は考えていません。

問 ふるさと応援寄附金の実績は。

答 平成26年度は58万5,000円です。町の特産物の進呈を始めたが、その影響は出ていません。

問 保育緊急確保事業費補助金とは。

答 児童館・児童センターで行われる子ども子育て支援事業などのための補助金です。

問 公共施設等総合管理計画とは。

答 千代田町の公共施設が今後どのような人口推計のもと管理運用して

いくのか、その指標を作るもので地方創生にも関連がある事業です。

問 幼稚園の預かり保育は増えているのか。

答 東西幼稚園でも増えてきています。

問 町の選挙の投票率を上げる運動はやっているのか。

答 議会側の要請により、選挙公報を新聞折込みで行う予算を取っています。

問 給食センターの衛生管理については。

答 調理室に入るには、白衣を着用し、自動水栓の水道を使い消毒液入洗剤で爪の中まで良く手を洗い、更にアルコール消毒をしてから自動ドアで手を触れないようにしています。県の指導のもと徹底した衛生管理を行なっています。

問 町の温水プールの、高齢者に対する利用者負担軽減については。

答 大泉町では、65歳以上は無料で利用できるようになったので、今後千代田町も負担軽減について検討していきたい。

問 法令外負担金は、群馬県町村会で4割位削減していくと決めたところ、千代田町の状況は。

答 各団体・協議会への負担金は、37団体58万6,000円で、前年度よりも8団体4万3,000円削減しています。今後、各団体・協議会の負担金決定の動向を見ていきます。



徹底した衛生管理をしている給食センター

福祉産業常任委員会

◎金子孝之 ○坂部敏夫 青木國生 富岡芳男 小林正明 高橋祐二 ◎委員長 ○副委員長

町からの報告事項

●主な所管事務について

環境保健課…群馬県流域下水道の再編について
西邑楽水質浄化センターの太陽光発電設備の設置について

経済課…プレミアム付き商品券について
観光用町PRポスターについて

建設水道課…ふれあいタウン分譲状況

舞木土地区画整理組合の保留地処分状況

信号機役場案内表示板設置について

国土地理院による町の面積の変更について

主な協議事項

●平成 27 年度予算について

●閉会中の継続調査について



減少傾向にある被害木伐倒処理

主な質疑

問 介護保険料が値上げとなったが、再度値上げはあるのか。

答 3年間の介護保険事業運営に必要な値上げであり、今後も高齢化に伴い、保険料の改定が考えられます。

問 消費生活センターの利用実績は。

答 大泉消費生活センターへの問い合わせ件数は、平成25年度全体で222件、千代田町分とし

て39件、平成26年度は途中ですが全体で222件、千代田町分として32件です。

問 森林病害虫等防除事業の補助金が減額された要因と、事業の効果は。

答 補助金減額の理由は、平成25年度に実施し

きれなかった事業を26年度に実施したため、事業量が増加しましたが、今年度は例年通りの補助金額となっております。また、事業の効果は病害虫防除

薬の樹幹注入により伐倒

処理本数も減り、効果は出てきていると考えます。

問 米価格安定対策事業補助金の補助実績は。

答 平成25年度は、1俵あたり551円の補助を生産調整実施者に実施しました。

問 渡船場のAEDはリースではなく、買い取りではいけないのか。

答 いざというとき正常に作動するようメンテナンス等のことを考えリースとしています。

問 公園緑地維持管理委託料が5年間の契約になった理由は。

答 5年間の契約にすることにより、委託料の節減が図れるためです。

問 上水道の老朽管は何m残っているのか、また布設替えはいつ終了するのか。

答 老朽管は約10・8kmで全体の7・69%残っており、10年間で終了予定です。

問 舞木土地区画整理組合からの貸付金返済状況と、また、昨年全員協議会で説明された内容の組合からの回答は。

答 貸付金は、平成26年度末で完済予定でしたが、1億1,100万円が滞納繰越となります。また、組合に書面での回答を求めています。まだ届いていません。

問 舞木土地区画整理組合員の清算金への対応は。

答 現在、事業が止まっている状況ですが、動き出し、本換地となる前に、個別説明会を開きたい。

問 幼・保一体こども園構想について町の考えは。

答 初めに西地区において認定こども園を目指し、今後、東地区でも検討していきたい。



千代田八木節 ソーラン

代表 田中 玲子さん
(木崎)

千代田八木節ソーランは会員数31名で、講師の岡田久子先生のもと活動しています。産業祭や桜祭り、館林祭りなどのイベントに多数参加するとともに、施設に行つて踊りを披露し、お年寄りに喜んで頂いています。

お揃いの衣装を身にまとい、傘などの小道具を使い、音楽に合わせて踊る姿は躍動的で、元気ハツラツという印象でした。「健康のため、仲間づくりのために続けているが、色んな所へ行って観てもらうことがやりがいとなっている。これからも会員数を増やし、八木節ソーランの楽しさを広めていきたい」とのこと。

練習は毎週月曜日7時30分から西小学校体育館で行なっています。興味のある方は見に来てください。



議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、

6月4日(木) ~ 6月11日(木)の予定です

(一般質問は初日の午前9時からです)



会議録は町のホームページからご覧になれます。

千代田町議会

編集後記

最近読んだ本の中に「おかげ様」の心が成功に繋がる、というのがありました。人と人とのふれ合いの中で交わされる大切な言葉、それが挨拶であり、その中でも特に「おかげ様」という言葉が大切だということです。自分が自分だと、自我を主張するより、自分の力のみで現在があるのではなく、自分を取り巻く周囲の人々のおかげと常に感謝の心を持つことで、成長していけるのだらうと思うのです。

議会だより「大河」の編集に際しましても、「おかげ様で」先進地視察研修で戴くご指導や、町民皆様のご意見等により読みやすい紙面となるよう、編集委員一同、一生懸命取り組んでおりますので、今後ともご愛読を頂きますよう、お願い致します。

福田正司 記

議会広報編集委員会

- | | |
|----|-------|
| 委員 | 金子 孝之 |
| 委員 | 野村 智一 |
| 委員 | 小林 正明 |
| 委員 | 福田 正司 |
| 委員 | 襟川 仁志 |
| 委員 | 坂部 敏夫 |
| 委員 | 高橋 祐二 |